

議会報告会における市民からの 要望等の報告についての対応

平成26年8月作成

重点要望事項

	件 名	頁
1	小禄支所、消防局小禄南出張所（仮称）及び真和志南地区公民館・図書館（仮称）など、地域にかかる公の施設の建設事業については、早急に地域住民への十分な説明と意見交換を行うこと。	1
2	特定健診の受診率アップのため、各種市内イベント、地域の運動会、自治会等へ出張実施などの工夫を行うこと。	2
3	各小中学校の耐震診断の状況や計画及び各地域の避難場所や備蓄の状況、また本市の消防力・救急搬送状況など、地域の防災情報の各家庭レベルへの周知を徹底すること。	3
4	御茶屋御殿及び中城御殿の早期の復元整備について、国とも連携しながら、那覇市としての取り組みを更に推進すること。	6

重点要望事項 1

小禄支所、消防局小禄南出張所（仮称）及び真和志南地区公民館・図書館（仮称）など、地域にかかる公の施設の建設事業については、早急に地域住民への十分な説明と意見交換を行うこと。

対応（市民文化部ハイサイ市民課）

小禄支所建設整備事業に伴う住民説明及び意見交換についての要望につきましては、「小禄支所建て替え位置等の考え方」に基づき（仮称）消防局小禄南出張所との複合及び分築の検討も含め、今年度基本計画を策定する予定です。その中で、自治会及び地域関連団体へのヒアリング及び説明と意見交換を行って参ります。

対応（消防局総務課）

（仮称）小禄南出張所の建設事業に伴う住民説明及び意見交換についての要望につきましては、庁舎の機能、規模など、小禄支所建設整備事業との関連性なども踏まえ、今年度は市民文化部と共同で基本計画の策定を予定しております。

つきましては、基本計画の策定段階において、市民文化部と調整を図りながら住民説明及び意見交換を行って参ります。

対応（生涯学習部生涯学習課）

真和志南地区に、沖縄振興特別推進交付金を活用して生き生き人材育成支援施設（仮称）の建設を予定しております。

当該施設は、人材育成機能、ライブラリー機能、コミュニティー機能を備えたものになる予定です。

今年度中に基本構想の策定を予定しており、その過程において地域住民への説明会を開催し、十分な説明と意見交換を行ってまいります。

重点要望事項 2

特定健診の受診率アップのため、各種市内イベント、地域の運動会、自治会等への出張実施などの工夫を行うこと。

対応（健康部特定健診課）

○自治会等への特定健診の出張実施について

特定健診の受診率アップのため、自治会等が主催して健診を実施した場合に、健診報奨金を交付することとしており、これまで受診機会の拡大につながる事業の一つとして取り組んでまいりました。今年度も引き続き実施してまいります。

○市内で開催される各種イベント会場、地域の運動会での特定健診の出張実施について

イベントや運動会は、日曜日などの休日を利用した開催になることが多いことから、受託健診機関における職員の勤務の割振りや機材の確保、また採算性などの課題などがあり、受託健診機関の協力が必要不可欠となりますが、まちかど健診を受託している健診機関は、現在2か所のみであります。

今後とも那覇市医師会等の協力を得ながら受託健診機関を増やすことができるよう、引き続き健診機関へ協力を依頼してまいります。そして、イベントや運動会の参加者や開催会場、出張健診が可能な衛生環境を確保できるか等、総合的に判断した上で、主催者と連携しながら対応していきたいと考えております。

なお、今年は、10月19日の日曜日に第1回的那覇市健康ウォーキング大会が開催される予定であることから、会場である沖縄セルラースタジアムにて同時開催される健康フェアの中で、まちかど健診実施に向けた準備を進めております。

また11月15日の土曜日に国民健康保険の広報番組「“おでかけ”がんじゅうタイム」が那覇市民会館で開催される予定であり、同会場においても、まちかど健診を実施する予定をしております。

重点要望事項 3

各小中学校の耐震診断の状況や計画及び各地域の避難場所や備蓄の状況、また本市の消防力・救急搬送状況など、地域の防災情報の各家庭レベルの周知を徹底すること。

対応（生涯学習部施設課）

各小中学校の耐震診断の状況や計画について

耐震診断とは、建物を継続的に使用する際に、地震に対する耐震性能を評価する調査方法で、耐震補強を念頭に置いた場合、最初に行う調査であります。

各小中学校の耐震診断につきましては、平成25年度に、小学校7校、中学校3校で耐震診断を実施しております。平成26年度は、小学校8校、中学校2校で耐震診断を実施する予定となっております。残りの小中学校につきましては、改築事業による建て替えを計画しております。

今後の耐震補強計画としましては、耐震診断を基に耐震補強事業に取り掛かる予定の学校としまして、平成26年度に2校、平成27年度に2校、平成28年度に2校を予定しており、引き続き平成29年度以降も順次、取り組んでいく予定であります。今後とも、小中学校施設の耐震化を図り、子ども達の安全・安心な教育環境の確保に努めてまいります。

対応（総務部総務課市民防災室）

本市では、那覇市地域防災計画で地震・津波等の大規模災害時における一時避難場所として城岳公園など26ヶ所、収容避難所として市内小中学校53校、広域避難場所として新都心公園など5ヶ所、台風等の小災害時の収容避難所として那覇市民会館など5ヶ所を指定しています。

災害時備蓄品の配備状況については、アレルゲンフリーのアルファ米やカレー等の食料品を市内53校の小中学校に13

3, 000食、那覇市緑化センター倉庫に127, 850食の計260, 850食分を備蓄しております。また、小売業の皆様方と災害時に食料品等を提供していただく協定を締結しております。

防災情報につきましては、現在、那覇市のホームページにて収容避難場所等を市民の皆様へ周知しているところです。また、本年8月号の「なは市民の友」に防災マップを掲載し、災害時の収容避難場所等を示しております。さらに災害時には即時に携帯電話、スマートフォンへ情報を伝達する、那覇市防災気象情報メールやエリアメールを活用して災害情報を発信しております。

今後も防災講話や広報媒体を活かした周知に努めて参ります。

対応（消防局救急課、消防局総務課）

1. 消防力の周知について

消防力の周知につきましては、消防広報誌「那覇市のまもり」において、過去5年間の火災・救急・救助件数や消防車両、消防部隊などを紹介した内容で毎年1回発行し、見学者や来客者の方々に配布している状況であります。今年度は消防局ホームページを見直し、消防年報や消防計画などを掲載して広く市民へ情報発信できるよう努めてまいりたいと考えております。

2. 救急搬送状況などの周知について

救急搬送状況など、各家庭レベルへの周知徹底につきましては、現在那覇市のホームページを活用し、過去5年間の救急出場件数に加え、平成26年中の救急出場件数及び搬送件数等を前年との比較を交えて速報値を掲載しております。

また、各救命講習会や毎年9月の「救急・防災フェア」、2月の「ファイヤーフェスタ」におきまして、救急搬送状況、応急手当普及啓発、救急車適正利用など広く住民へ広報いたして

おります。ご指摘の各家庭レベルの周知徹底とのことから、今後市長部局（秘書広報課など）と調整し紙面（市民の友）、ラジオ広報（那覇市民の時間）、FaceBook、メールマガジンなどあらゆる媒体を活用し、市民目線での積極的な広報を実施して参りたいと考えます。

※平成26年中救急出場件数（速報）

URL：<http://www.city.naha.okinawa.jp/kakuka/kyukyu/kensu/8671199kensu.html>

重点要望事項 4

御茶屋御殿及び中城御殿の早期の復元整備について、国とも連携しながら、那覇市としての取り組みを更に推進すること。

対応（企画財務部企画調整課）

御茶屋御殿の復元整備につきましては、市議会におきましても平成18年に国の責任においてなされるべきとの意見書を決議しております。本市としても同様な考えであります。

このため沖縄総合事務局、沖縄県、那覇市の担当者と構成する「御茶屋御殿ワーキンググループ」を平成19年7月に設置し、御茶屋御殿復元に向けた課題解決を図るため会議を重ねております。

今のところワーキンググループでも明確な結論には至っておりませんが、国が（「国の文化財登録」をして）復元に向けた一歩を進めるのであれば、本市といたしましても御茶屋御殿の遺構調査の資料提供等での協力をしていきたいと考えております。

また、中城御殿につきましては、現在沖縄県の公園整備事業として進められております。

今後県からの要請等があれば、本市としてのできる協力について検討していきたいと考えております。